

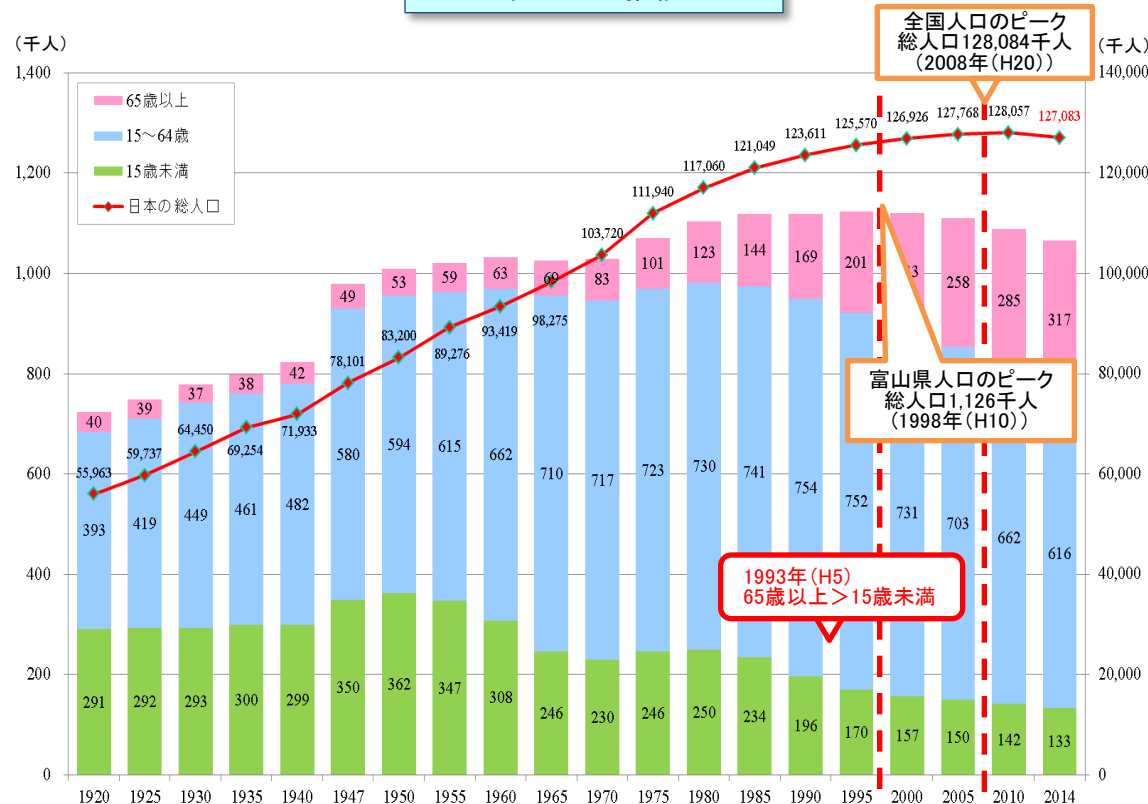
富山県人口ビジョン～富山県の人口の現状～

資料 2

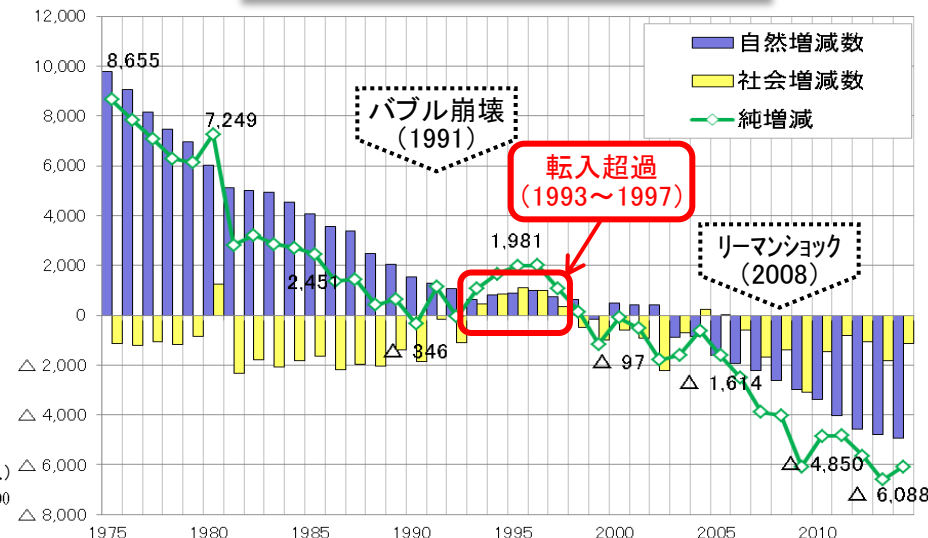
I. 現状の分析

- 労働力を支える15～64歳人口の割合は、1990年代から急速に減少
- 社会増減(転入-転出)は1998年から再びマイナスに転じる
- 自然増減(出生-死亡)は2003年から連続してマイナス
- 最近の人口移動の状況を見ると、15-29歳の若者世代、特に若い女性の東京圏への転出超過が目立つ

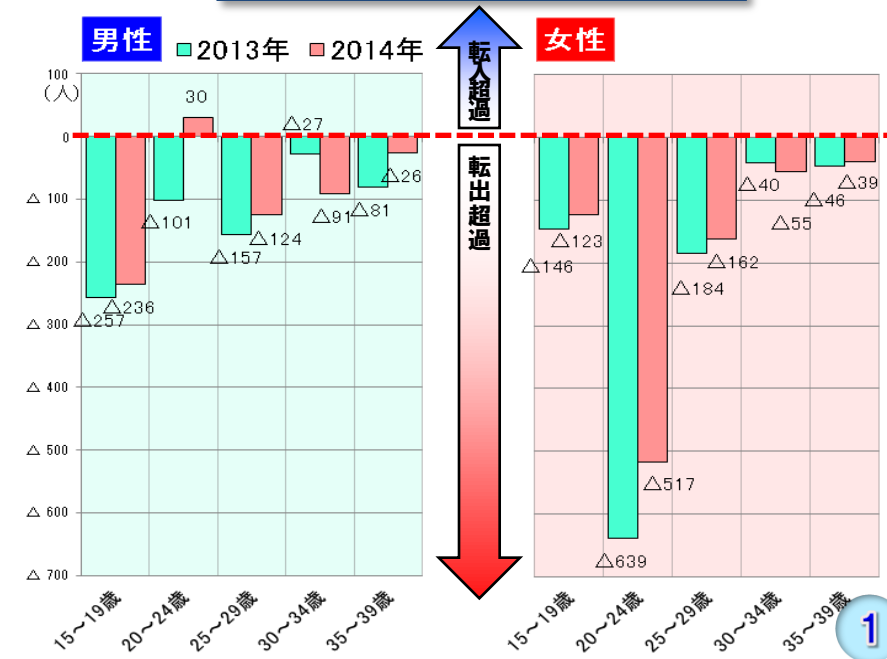
総人口の推移



人口動態の推移



県外転出入の状況(年齢15～39歳)



富山県人口ビジョン～本県の目標とする人口～

II. 人口の将来展望(推計条件)

自然増減 <合計特殊出生率の上昇>

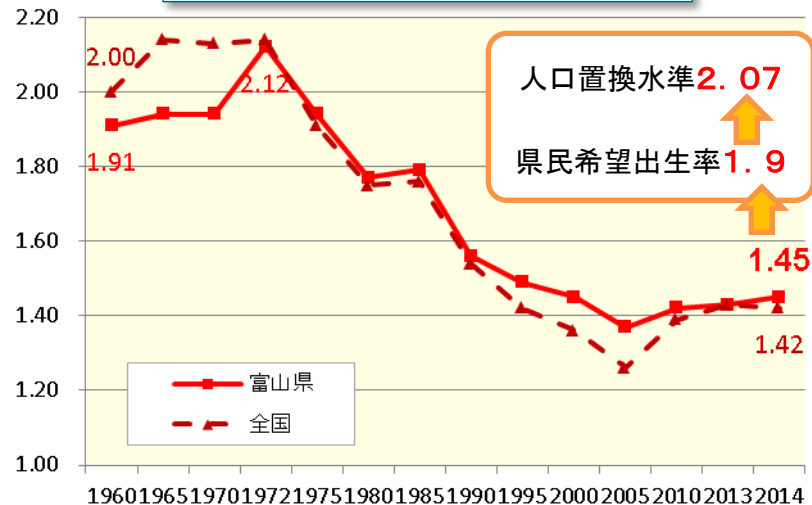
- 2030年 : 希望出生率1.9を達成
- 2040年 : 人口置換水準2.07を達成

社会増減 <転出抑制と転入促進>

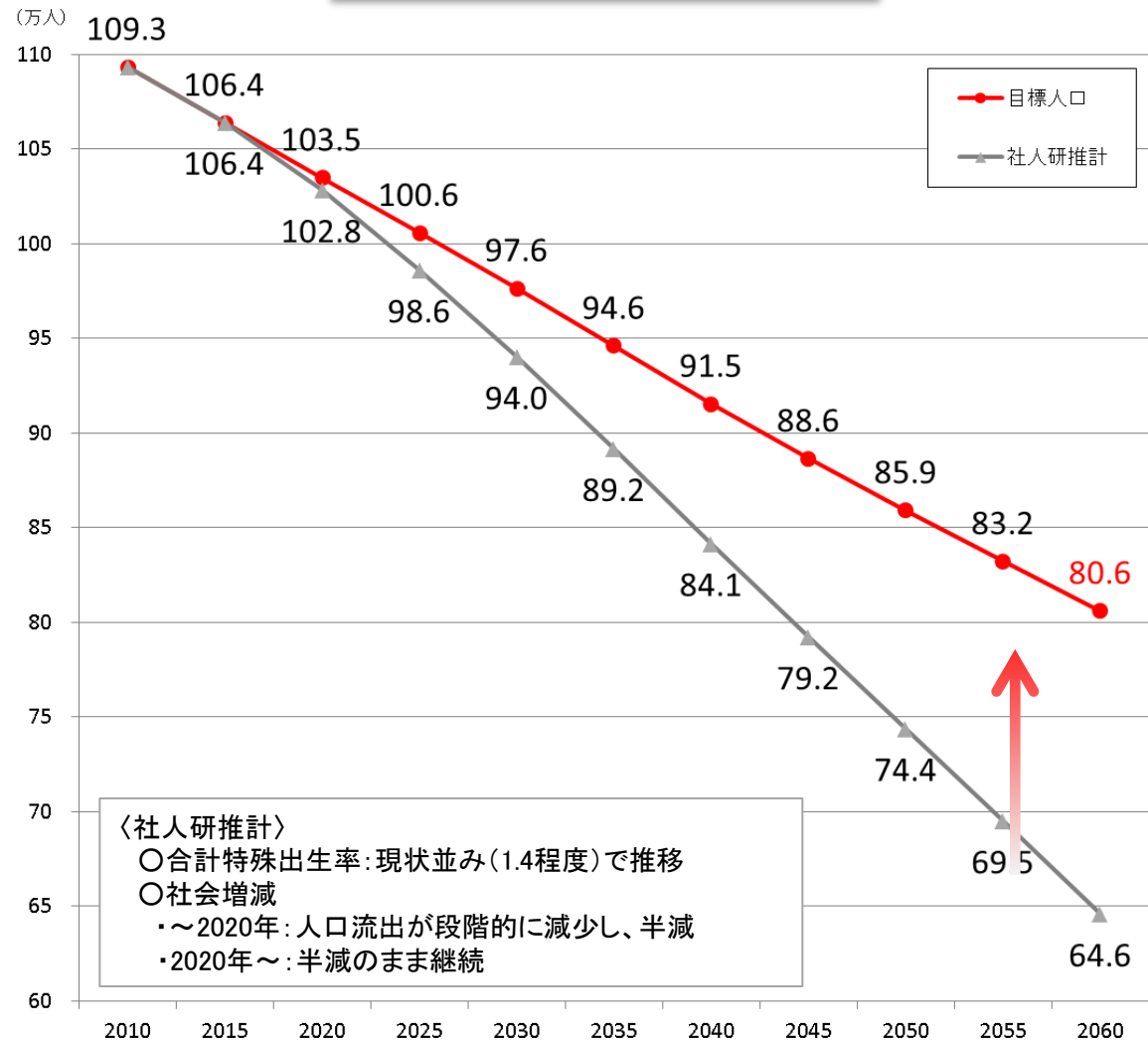
- 若者世代の社会増を重点的に取組み
- ～2020年: 若者世代の社会移動均衡

➡ 1,550人/年の社会移動改善を目指す

合計特殊出生率の推移



富山県の人口の将来展望



「出生率の上昇」と「社会移動の改善」で、2060年に総人口80.6万人を目指す！

平成26年10月発足

「まちの未来創造会議」

構成：県、市町村、経済界、学識経験者



平成27年5月発足

「とやま未来創造県民会議」

構成：産学官金労言、住民代表など

新川
地域部会

富山
地域部会

県西部
地域部会

観光
分科会

「とやま未来創生推進本部」

(県庁内横断組織)

○本部長＝知事

○プロジェクトチームを設置し、具体的内容を検討

とやま未来創生
タウンミーティング

県・市町村
地方創生連絡会議

県民の知恵と
パワーを結集

平成27年10月30日

とやま未来創生戦略 策定

人口減少自体への対応

人口減少社会への適応

基本目標 1

結婚・出産
・子育ての
願いが叶う
環境整備

自然減の歯止め

基本目標 2

産業の振興、
雇用の創出、
県外からの
移住促進

社会増への転換

基本目標 3

女性・高齢者など
多様な人材の
確保と労働生
産性の向上

労働力不足への対応

基本目標 4

地域の
基盤強化
・
魅力向上

地域力アップ

- 1 県民の知恵とパワーを結集
- 2 新幹線戦略の取組みをさらに深化
- 3 富山県の「良さ」「強み」を最大限に活かす
- 4 多様な人材確保、生産性向上・産業高度化を図る
- 5 先駆的な富山モデルをさらに磨き上げ
- 6 県全体がバランスのとれた発展をめざす
- 7 連携と協働による相乗効果で元気を創造
- 8 総合計画や他の計画等との整合性を確保

基本目標1 結婚・出産・子育ての願いが叶う環境整備

若い世代が希望どおり結婚し、
安心して妊娠・出産・子育てができる社会を実現

【数値目標1】

県民希望出生率「1.9」を目指す（[H26] 1.45）

■結婚から子育てまで切れ目のない支援による少子化対策の推進

結婚・妊娠・出産支援

○結婚を希望する
男女の出会いの場の提供や
ライフプラン教育の充実

- ・とやまマリッジサポートセンター
- ・元気とやま街コン等応援事業
- ・ハッピーライフポジティブ
キャンペーン

富山でしか味わえない
ハッピーライフをアピールし、
前向きな気運を醸成



○妊娠、出産、健やかな子どもの
成長のための環境整備

- KPI: 平均初婚年齢
[H31] 1歳程度引き下げる
(現状(H26) 夫31.0歳・妻29.2歳)

家庭・地域における子育て支援

○多様な保育・子育て支援サービスの
充実や子育て支援人材の育成

- ・病児・病後児保育、延長保育
- ・放課後児童クラブ

■KPI: 病児・病後児保育実施箇所数
[H31] 130箇所

■KPI: 放課後児童クラブ実施箇所数
[H31] 259箇所

○子育て家庭の経済的負担の軽減

- ・がんばる子育て家庭支援融資
- ・多子世帯保育料軽減(無料化)

○社会全体での子育て支援の
気運を醸成

○男性が家事・育児・介護等に
参画できる環境整備の推進

職場における子育て支援

○仕事と子育ての両立支援に
向けた職場環境の整備促進

- ・一般事業主行動計画の策定
義務化の拡大(計画策定支援)
- ・仕事と子育て両立支援セミナー

■KPI: 一般事業主行動計画を策定
し国に届け出た企業数
[H31] 2,150社



今後、各企業のご理解、
協力を得て「企業子宝率」
の活用を検討



隼より始めよ！

県庁：男性の育児参加休暇
※原則5日取得→拡充を検討

基本目標2 産業の振興、雇用の創出、県外からの移住促進

産業・経済の活性化、地域の魅力アップ、定住・半定住の環境づくりなどで、若い世代等がいきいきと働き暮らすことができる社会の実現

【数値目標2】

若者・女性の転入増・転出減を目指す：

[現状]若者・女性の転出超過数 1,550人→[H31]移動均衡

■産業・地域経済の活性化

○富山県の強みを活かした成長産業の育成

- ・「薬都とやま」の産業集積を活かしたライフイノベーションの推進
- ・最先端ものづくり産業の育成

■KPI: 医薬品生産額:[H31] 9,000億円

○中小・小規模企業の振興

- ・産学官連携強化や創業・販路拡大の支援
- ・伝統産業分野のブランド力向上

■KPI: 県内中小企業(製造業)の付加価値額:[H31] 9,000億円

○企業立地等の促進

- ・企業の本社機能移転に対する支援
- ・政府関係機関等移転の促進

○農林水産業の振興

- ・高品質で競争力のある農産物の生産
- ・担い手の確保・育成、経営基盤強化

■KPI: 農業産出額:[H31] 698億円

○環境・エネルギー産業の育成

- ・「環境・エネルギー先端県」づくりに向けた廃棄物の排出抑制・リサイクルの推進、エコライフスタイルの定着促進
- ・再生可能エネルギーの導入促進

■若者や女性がいきいきと働き暮らせる魅力ある地域づくり

○若者・女性の就業支援・県内定着の促進

- ・官民連携によるUIJターンの推進
- ・県内大学生等への県内企業の魅力発信の強化

■KPI: 就職マッチング件数:[H31] 240人

○高等教育機関の魅力向上

- ・高等教育機関の地域等との連携強化
- ・地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)
- ・県立大学の教育研究体制の充実と若者の地元定着のための環境整備
- ・全国初の医薬品工学科の新設看護学部設置

■KPI: 県立大学卒業生の県内企業就職率:[H32] 55%以上

○地域の魅力創生

- ・自然や歴史・文化など地域の魅力向上やまちづくりへの支援
- ・美しい自然、歴史的・文化的まち並みなど個性を活かした景観づくりを推進

■KPI: 地域の魅力づくりに取り組むNPO法人数:[H31] 75法人

■観光の振興、定住・半定住の環境づくり

○選ばれ続ける観光地づくり

- ・魅力ある観光地域づくりの推進
- ・日本版DMOの設置(県観光連盟の機能強化)
- ・広域観光の拠点化
- ・訪日旅行・富山旅行センター(仮称)の開設
- ・富山らしい魅力創出
- ・コンベンションの誘致促進

○富山のブランド力アップ

- ・首都圏等での戦略的情報発信による富山のブランド力アップ
- ・新アンテナショップ(東京・日本橋)開設
- ・「世界で最も美しい湾クラブ」加盟効果を活かした田園サイクリングコース整備
- ・食の魅力発信・「食のとやまブランド」確立

■KPI: アンテナショップ来店者数:[H31] 110万人

○定住・半定住の環境づくり

- ・「くらしたい国、富山」の魅力発信・相談体制充実
- ・意欲ある地域住民による移住者の受入促進
- ・恵まれた居住環境を活かした空き家活用
- ・農林漁業体験等を通じた交流促進

■KPI: 移住者数:[H31] 700人/年

基本目標3 女性・高齢者など多様な人材確保と労働生産性の向上

生産年齢人口のさらなる減少を見据え、女性や高齢者等が能力を発揮して働ける社会の実現とともに、生産性の向上を図る産業政策の展開

【数値目標3】

1人当たり**県民所得の維持・向上**：

[H24]307.7万円 → [H31]維持・向上

■女性が輝いて働ける環境づくり

■高齢者等が能力を発揮して活躍できる社会の実現

■多様な人材の確保と労働生産性の向上

○様々な分野で活躍できる女性人材育成

- ・企業等における**女性の活躍促進**や**女性人材育成の推進**
「**煌く女性リーダー塾**」の開催
女性が輝く元気企業とやま賞の表彰
- ・男性が家事・育児・介護等に
参画できる環境整備の推進

■KPI: 研究者・技術者における女性割合
:[H31]14.1%

■KPI: 6歳未満の子どもを持つ男性の
育児・家事関連時間:[H31]158分

○女性の再就職支援

- ・女性が安心して働ける職場環境づくりや
女性の再就職支援
- ・女性の職域拡大・スキルアップの
ための職業訓練や職業能力開発

■KPI: 30歳～34歳の
女性の就業率
:[H31]74.1%以上



○元気な高齢者が活躍するための支援

- ・働く意欲のある健康で元気な
高齢者への就業・起業支援による
高齢者人材の活用促進
とやまシニア専門人材バンク
- ・高齢者の社会活動への参加促進を
通じた**エイジレス人材**の育成促進

■KPI: 65歳～69歳の就業率
:[H31]40.5%以上

○誰もがいきいきと働き活躍できる場の創出

- ・障害のある人のニーズに
応じた就業支援

■KPI: 雇用障害者数
:[H31]3,700人



○ものづくり分野や観光分野などでの人材育成、外国人留学生の受入・定着の促進

- ・企業の中核となる
高度ものづくり人材の確保支援
- ・官民連携による人材の掘り起こし・育成や
グローバル人材の育成支援
- ・外国人留学生の受入促進

■KPI: アセアン留学生受入数
:[H31]24人/年

○労働生産性の向上と産業の高度化支援

- ・高度ものづくり人材の育成
- ・ものづくり・ICT技術等を活用した
生産性の高い農業の展開
チューリップ球根栽培用ロボットの開発
次世代施設園芸導入加速化の支援
薬用シャクヤク生産の機械化実証の支援

基本目標4 地域の基盤強化・魅力向上

自然、産業、文化などの特性を活かし、
安全・安心で心豊かな地域社会の構築

【数値目標4】

健康寿命の延伸：[H22]男性70.63歳、女性74.36歳

[H31]男性72.74歳、女性76.32歳

将来も富山県に住みたいと考える高校生の割合：[H22]56.9% → [H31]60%

■交通ネットワーク整備と 活力あるまちづくり

○陸・海・空の交通基盤整備

- ・北陸新幹線の整備促進
- ・アクセス道路、道路ネットワーク整備
- ・国際拠点港湾伏木富山港等の機能充実
- ・富山空港の機能充実

■KPI: 富山空港国内・国際路線の利用者数
:[H31]減少を食い止める

○快適で活力ある 魅力的なまちづくり

- ・中心市街地活性化への支援
- ・買い物支援サービスなど
- ・地域貢献型事業の育成・支援
- ・ICT利活用による県民生活の利便性向上
- ・地域公共交通ネットワークの確保・充実
- 「あいの風とやま鉄道」
交通ICカード導入支援
- ・豊かで魅力ある中山間地域の実現
- ・活力ある経済・生活圏形成など

地域連携の推進

■KPI: 地域連携に係る協約の締結
:[H31]1圏域以上

■健康でともに支えあい 安心して暮らせる社会の形成

○健康寿命の延伸

- ・「健康寿命日本一」を目指した
望ましい生活習慣・健康づくりの推進
- ・総合的ながん対策の推進

○医療や福祉の充実

- ・安心で質の高い医療サービス提供体制の
整備・充実

県立中央病院の先端医療棟の整備
ドクターヘリの共同運航

- ・地域医療を担う人材の確保・育成

■KPI: 人口10万人当たり救急科専門医数
:[H31]3.0人

- ・富山型デイサービスやケアネット活動など
地域ぐるみで支え合う仕組みづくり
- ・介護サービスの充実と
地域包括ケアシステムの構築

○豊かで快適な環境づくり

- ・豊かな自然環境の保全
- ・生活環境や環日本海地域の環境保全

○安全・安心の確保

- ・食の安全確保・地産地消・食育の推進
- ・地域防災力の向上、災害に強いまちづくり
- ・安全なまちづくりの推進

■地域を担う人づくり

○教育力の向上

- ・子どもの健全な育成と
地域・家庭の教育力の充実
- ・確かな学力の育成
とやま科学オリンピックの開催

■KPI: 全国学力調査における正答率
:[H31]全国トップクラスを現状以上に

○「心の元気」を醸成する 文化の振興

- ・高志の国文学館を拠点とした
ふるさと文学の振興
- ・世界に誇ることのできる質の高い文化の
創造・発信と芸術文化を通じた海外との交流
アジアを代表する舞台芸術の拠点づくり

■KPI: 県内での芸術文化創造活動に参加する
外国人アーティスト人数:[H31]約500人/年

○未来を拓く人材育成

- ・社会で生きる実践的な力の育成
- ・「とやま起業未来塾」等による若者、女性、
熟年者への起業支援
- ・「とやま観光未来創造塾」等による
観光人材の育成

とやま未来創生戦略の数値目標とKPI（重要業績評価指標）

数値目標（平成31年度）

主なKPI（重要業績評価指標）

人口減少自体への対応

基本目標 1

結婚・出産・子育ての願いが叶う環境整備

自然減の歯止め

県民希望**出生率**
「**1.9**」を目指す
（[H26] 1.45）

平均初婚年齢

現状値（H26）

目標値（H31）

夫31.0歳 妻29.2歳

1歳程度引き下げる

未婚率（25歳～29歳）

男性71.1% 女性57.4%

引き下げる

病児・病後児保育実施箇所数

82箇所

130箇所

とやま子育て応援団の利用度

53.7%

70.0%

基本目標 2

産業の振興、雇用の創出、県外からの移住促進

社会増への転換

若者・女性の**転入増・転出減**を目指す
若者・女性の転出超過数
[現状]1,550人
[H31]移動均衡

医薬品生産金額

6,089億円

9,000億円

県内中小企業（製造業）の付加価値額

7,623億円（H25）

9,000億円

本社機能移転拡充による雇用創出数

—

500人（5年累計）

農業産出額

643億円（H25）

698億円

県立大学卒業生の県内企業就職率

42.0%

55%以上（H32）

延べ宿泊者数（宿泊旅行統計調査）

3,489千人

増加させる
（新観光プランで検討）

人口減少社会への適応

基本目標 3

女性・高齢者など多様な人材の確保と労働生産性の向上

労働力不足への対応

1人当たり**県民所得**の**維持・向上**を目指す
[H24]307.7万円
[H31]維持・向上

① ②
就業率（30～34歳女性、65～69歳）

① ②
74.1%、40.5%（H22）

現状値以上

研究者・技術者における女性の割合

11.8%

14.1%

地域社会で活動する高齢者等の活動件数

5,072件

5,600件

アセアン地域からの留学生受入数

19人/年

24人/年

従業員1人あたり付加価値額（製造業）

985万円（H25）

1,100万円

基本目標 4

地域の基盤強化・魅力向上

地域力アップ

健康寿命の延伸
[H22]男性70.63歳 女性74.36歳
[H31]男性72.74歳 女性76.32歳
将来も富山県に住みたい
と考える高校生割合
[H22]56.9% [H31]60%

鉄軌道・バスの利用者数推移

△3%（H15→H25）

プラスの伸び率
（交通ビジョンで検討）

市町村等の地域連携協約の締結

—

1圏域以上

人口10万人当たり救急科専門医数

1.9人（H24）

3.0人

地域包括ケア活動実施団体登録数

—

1,500団体

新規高校卒業生の県内就職率

94.2%

現状維持